



## 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

本年4月17日（木）に、小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。さらに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。

一方、調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。また、本校は小規模校で、対象学年の児童数が少なく、個人情報の観点からもより丁寧な取り扱いが必要です。このことを十分考慮したうえで、今回の調査結果と分析を皆様に報告させていただきます。そして、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実させていきます。

### 1 教科に関する調査の結果

| 平均正答率（％） | 本校(全国との比較) | 鈴鹿市 | 三重県 | 全 国  |
|----------|------------|-----|-----|------|
| 国 語      | 74（＋7.2）   | 66  | 66  | 66.8 |
| 算 数      | 67（＋9.0）   | 57  | 57  | 58.0 |
| 理 科      | 63（＋5.9）   | 56  | 56  | 57.1 |

### 2 各教科の結果分析（各教科の成果と課題）

① 成果：主に全国の平均正答率よりも正答率が高かった問題

② 課題：主に全国の平均正答率よりも正答率が低かった問題

#### （1）国語

##### ① 成果

| 問題番号  | 内容                                                             |
|-------|----------------------------------------------------------------|
| 2ー    | 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 |
| 2四ア   | 漢字 このみ（好み）                                                     |
| 2四イ   | 漢字 あつい（暑い）                                                     |
| 3二（1） | 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。                          |

## ②課題

| 問題番号  | 内容                                                             |
|-------|----------------------------------------------------------------|
| ①ー    | 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 |
| ①二    | 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。                |
| ③三（１） | 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。                      |

## （２）算数

### ① 成果

| 問題番号 | 内容                                       |
|------|------------------------------------------|
| ①（４） | 示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。 |
| ②（３） | 角の大きさについて理解している。                         |
| ③（４） | 異分母の分数の加法の計算をすることができる。                   |
| ④（１） | 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。     |

## ② 課題

| 問題番号 | 内容                                                          |
|------|-------------------------------------------------------------|
| ①（２） | 目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。             |
| ②（２） | 台形の意味や性質について理解している。                                         |
| ②（４） | 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できる。                    |
| ③（２） | 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できる。 |
| ③（３） | 数直線上で、１つの目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができる。                   |
| ④（４） | 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる。          |

### (3) 理科

#### ① 成果

| 問題番号  | 内容                                                              |
|-------|-----------------------------------------------------------------|
| ① (1) | 赤玉土の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができる。 |
| ① (2) | 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができる。            |
| ② (4) | 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている。                               |
| ③ (1) | ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。                                    |

#### ③ 課題

| 問題番号  | 内容                                                                |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| ② (1) | 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている。                   |
| ② (2) | 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができる。                              |
| ④ (1) | 水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったか検討し、表現することができる。 |

### (3) 課題改善に向けた取組

- ・授業力 UP 5 ver.2 を意識した授業づくりを行います。個別最適な学びと協働的な学びを一体的な充実を図り、子どもたちが主体的に学習に取り組めるようにしていきます。
- ・「読む・書くワークシート」「よむ YOMU ワークシート」に取り組み、目的に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くようにしていきます。
- ・引き続き、読み聞かせボランティアさんや教師による読み聞かせを行ったりして、本に親しむ機会を増やしていきます。
- ・学調とみえスタディ・チェックの過去問、学-Viva! セットやワークシート等を授業や宿題で活用していきます。
- ・ICT を効果的に活用して資料から必要な情報を見つける練習を行ったり、見つけた情報から分かったことを伝え合ったりする機会を増やしていきます。
- ・全国に比べて正答率が低かった問題については、学習した学年を明確にし、該当学年で重点的に指導するようにしていきます。

### 3 児童質問調査の結果分析

児童質問調査は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。学校生活・生活習慣・学習習慣に関わること、家庭生活に関わること、非認知能力や今求められている力に関わることなどへの問いがありました。

① 成果：主に全国よりも児童の肯定的評価が高かった質問

② 課題：主に全国よりも児童の肯定的評価が低かった質問

#### (1) 成果と課題

##### ☐家庭生活・生活習慣・学習習慣について

###### ①成果

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。 ・放課後や週末に 友達と遊んでいる。
- ・読書は好き。

###### ②課題

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強できていない。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強できていない。
- ・放課後や週末に家でテレビや動画を見たりゲームをしたり、SNS を利用したりしている。

##### ☐学校生活について

###### ①成果

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。

###### ② 課題

- ・友達関係に満足している。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組めていない。

##### ☐地域連携について

###### ②課題

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。

##### ☐非認知能力について

###### ①成果

（自制心）

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。

(社会性)

- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。

(自己肯定感)

- ・自分には、よいところがある。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれている。

### ③ 課題

(やりぬく力)

- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできる。
- ・将来の夢や目標を持っている。

□今、求められている力

### ① 成果

#### ○深い学び

- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。

#### ○個別最適な学び

- ・ICT 機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

#### ○協働的な学び

- ・友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

#### ○学びのアウトプット

- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。

### ② 課題

#### ○主体的な学び

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組められていない。

#### ○対話的な学び

- ・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていない。

## (2) 課題改善に向けた取組

・家庭学習の推進のために、今年度も天名まちづくり協議会作成の家庭学習達成表を活用していく。加えて、2学期から2年生以上で自主学習ノートの取り組みを始める。児童が自分で課題を決め、教師がコメントをしたり、校舎内に掲示したりすることによって、意欲をもって家庭学習に取り組めるようにしていきます。

・非認知能力の向上をめざして、様々な行事を通して成功体験を積み重ねて自信をつけさせるとともに、振り返りを大切にいきます。